



橋北中学校だより

令和8年3月2日(月)
第11号 文責:奥田
津市立橋北中学校

想いをつなぐ、三送会

三年生を送る会が、卒業まで残り十五日となった2月25日に行われました。

生徒会と二年生が中心となって準備を進めてくれたこの会では、恒例のダンスから始まり、全校でのクイズ、懐かしい映像、先生方からのあたたかなメッセージなど、心のこもったプログラムが続きしました。

最後には、卒業式で胸につけるコサージュが三年生代表に手渡され、在校生と卒業生それぞれの言葉で会が締めくくられました。

ダンス企画では、三年生の生徒が自ら MC を引き受け、みんなで円陣を作ろうと呼びかけてくれました。体育館いっぱい広がった大きな輪。その中で、笑顔とリズムがひとつになっていく時間は、まさに「つながり」を感じるひとときでした。

橋北中の生徒たちは、いつも誰かと心を通わせながら、共に歩んでいるのだと、三送会のたびに思わせてもらえます。卒業まで、あとわずか。今、隣にいる友だちと過ごす日々が、いつか思い出になる日がやってきます。どうかその一日一日を、大切に過ごしてください。



校内花植えボランティア活動

今年度4回目の花植えボランティア活動を2月20日(金)、学年末テストの最終日に実施しました。この日は3年生が奉仕作業と重なりましたが、毎回参加してくれている生徒たちは昼休みの時間に集まってくれ、総勢115名で200株以上のパンジー、ピオラ、サクラソウの花を植えることができました。花の苗は美里にある亀井園芸さんが毎年、小中学校等に無料で提供していただいているものです。今年も卒業式の会場を華やかに彩ってくれることと思います。誰かのためになる、誰かが喜んでくれる活動を大切にしていきたいです。



学校評価アンケートについて

11月に行いました学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。本校の学校評価アンケートは4月に行われた全国学力・学習状況調査の生徒質問紙(以下、質問紙)に合わせたものとしています。そのことにより、質問紙での結果をもとに生徒の強みや課題を分析し、日々の授業や取り組みを見直すことができ、半年間の生徒の変容を確認することができます。また、2月20日に開催した第3回学校運営協議会において、アンケートをもとに行った学校自己評価について議論をしていただきました。

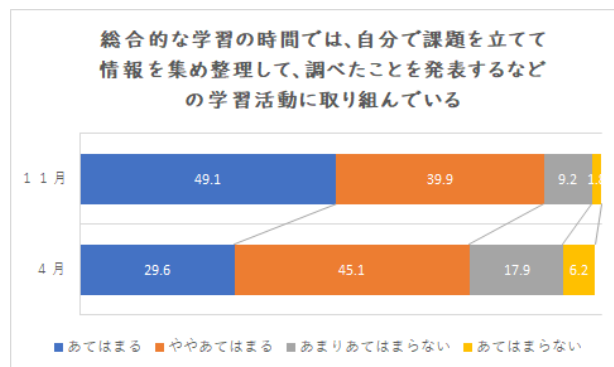
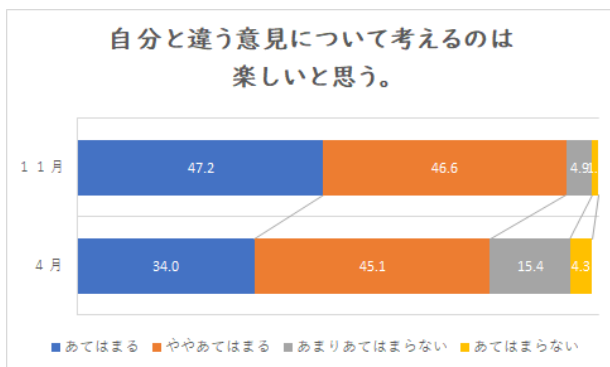
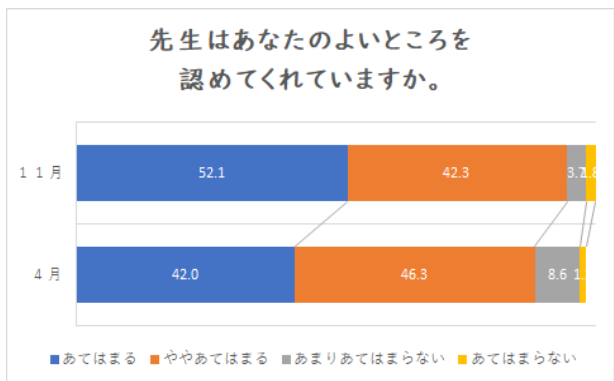
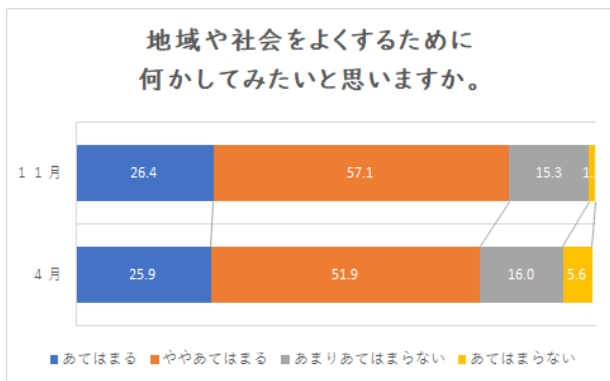
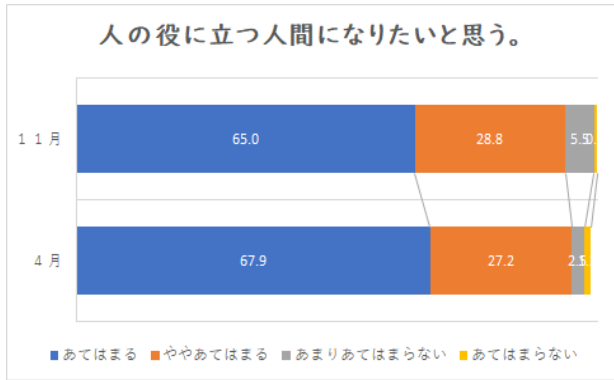
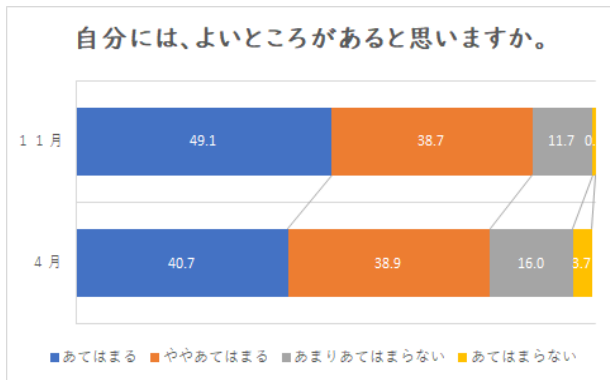
生徒アンケート (3年生の4月から11月の変容に注目)

【自己肯定感・自己有用感の涵養】

日々の授業や探究的な学び、学校行事、そして地域の活動に参加する中で、生徒たちには「誰かのために力を尽くしたい」という思いが少しずつ芽生えてきたように感じます。私たちは、そうした一つひとつの経験に「意味」や「価値」を見出せるよう、日々の教育活動に取り組んできました。学びや活動を通して、生徒たちはきっと気づいたはずで、「自分にも、誰かの役に立てる力がある」そんな実感が、自己肯定感や自己有用感につながっていったのではないのでしょうか。

【学び合う授業の推進、探究的な学習の展開】

自分とは違う考えに出会い、耳を傾ける。その中で、自分の考えが深まったり、広がったりすることに、楽しさを感じる生徒が少しずつ増えてきました。「聴きあう関係」を大切に「学び合う授業」は、学力の向上だけでなく、相手に思いを伝える力や、共に生きる力を育ててくれます。また、2年生から取り組んできた総合的な探究学習では、自分たちの学びがどんな意味を持つのか、少しずつ理解が深まってきたように感じます。問いをもち、仲間と語り合いながら、自分の世界を広げていく、そんな学びが、これからも続いていくことを願っています。



生徒と保護者の間に差はあるが

「学校へ行くのは楽しいと思うか」という問いに、三年生の多くが「そう思う」と答えてくれました。特に「とてもそう思う」と答えた生徒が春よりも大きく増えていることから、最終学年としての学びや部活動、行事のひとつひとつが、生徒たちにとって喜びや充実感につながっているのだと感じます。また、「将来の夢や希望を持っていますか」という問いでは、生徒と保護者の回答に大きな差が見られました。保護者の皆さんが思っている以上に、生徒たちは前向きに、日々を大切に生きているのかもしれません。どうかこの機会に、お子さんとゆっくり話をしてみてください。きっと、思いがけない前向きな言葉や未来へのまなざしに出会えるはずです。

